

平成28年度 学校評価報告書

1 教育目標及び本年度の努力点

教育目標	独創進取の精神をもって人生を積極的に切り開き、平和で民主的な社会の担い手を育成するとともに、家庭や地域社会との結びつきを深め、開かれた学校にする。
本年度の努力点	①基礎的・基本的な知識や技能の習得 ②生徒の意欲を引き出す教材の開発や指導方法、評価方法の研究 ③自ら学ぶ力、相手を思いやる心・尊重する心を養う

2 評価結果の概要

対象	項目	具体的方策	評価結果と課題、次年度への改善策等
学習指導	基礎的・基本的な知識や技能の習得	1年生に対し、中学生で身につけるべき基礎学力を徹底指導	○基礎学力診断・確認テストで分野ごとに合格するまでマンツーマンで徹底指導を行っている。理解することで意欲的に学習に取り組む姿勢が生まれ、一定の成果を出している。 →さきめ細かい指導に感謝する。さらに、学習習慣の定着に向けてより一層の指導を期待する。
		成績不振者の個別指導、学習のサポート体制の充実	○授業をしっかりと受ける指導や、成績不振者に対する個別指導など、学習のサポート体制を充実させている。 →日頃の取組に感謝する。遅刻指導などを通じて、基本的な生活習慣を身につけさせ、充実した高校生活を送る基礎固めの指導を今後も継続してお願いしたい。
	生徒の意欲を引き出す教材の開発や指導方法、評価方法の研究	2・3年生の総合選択制での、進路を見据えた選択	○生徒のアンケート結果から、興味のある科目割合が上がっていた。学習意欲の向上がみられた。 →興味・関心から、「好きになること」で成果が大きく変わる。希望する選択ができるように幅を広げることを検討。
		デュアルシステムコースの新設	○2年生での履修登録から3年生での実施発表会、及び評価の方法を確立した。 →開講初年度とあって、様々な苦難を乗り越えて成功させた。生徒たちは企業で1年間、肌で感じる活動を通じて自信を芽生えさせている。企業との連携がうまくいっていると評価する。
生徒指導	自ら学ぶ力、相手を思いやる心・尊重する心を養う	資格・検定取得の指導の充実	○ジュニアマイスター顕彰30名、特別表彰4名、理事賞1名、技術顕彰は126名が受賞した。危険物乙種甲種合格1名など高い取得率となった。 →評価する。来年度も多種にわたり指導をしていく。
		各種大会に挑戦 地域貢献	○ものづくりコンテスト機械旋盤部門で全国大会に出場した。また、マイコンカー東海大会エキシビションで優勝した。各種ボート競技大会、科学の祭典、あいち技能プラザなどに積極的に参加して高い評価を得た。有人操縦飛行機的设计製作を行い、飛行を成功させた。 →高評価である。外部に向けて活躍する生徒を育成している。地域が必要とする高校を目指す。地域に貢献することは、生徒の意欲向上につながっていくので、今後も継続させる。
生徒指導	自ら学ぶ力、相手を思いやる心・尊重する心を養う	人権を尊重したいじめ対策	○担任・教科担当・学科・部活顧問等と情報を共有し、早期発見・早期対応を心がけ、いじめ防止に努めた。 →SNS等の利用について、指導を強化していく必要がある。
		積極的なボランティア活動	○地域清掃（200名以上の生徒）、熊本地震の募金活動、地域防災、中川区区民祭りでのボランティア活動、保育園での出前授業、車いす整備など様々な活動をした。 →評価する。今後も活動を通して思いやり精神を育成する。

3 アンケート等実施状況及び評価結果の公表について

アンケート	6月	生徒対象	学校生活アンケート	結果公表	3月	自己評価まとめ
	11月	生徒対象	学校生活アンケート		5月	P T A委員会・役員会にて報告
	11月	保護者対象	アンケート		10月	学校評議委員会報告